

「建築設計事務所 ^{ブラド} PRADO」は、
ポルトガル語で「草原」、「小さな牧場」という意味です。

また、近代建築の作法として、

哲 学 (^{フィロソフィー} Philosophy)、
空 間 (^{ラウム} Raum)、
建 築 (^{アーキテクチャー} Architecture)、
設 計 (^{デザイン} Design)、
事 務 所 (^{オフィス} Office)、

^{ブラド}
の意味もあわせて [PRADO] としました。

感性と建築

建築設計事務所 ^{ブラド} PRADO は本物を見抜く感性を生かして、誰もが安心して心地よく暮らせる建築を目指します。
あざやかな個性の表現、いたわりあう心の象徴、生命を慈しむ空間を建築の設計業務を通じて、より豊かな健康な建築を実現したいと想います。

建築設計事務所 ^{ブラド} PRADO はあらゆる仕事の根底に、そこに暮らす人の幸せを願って、住宅の増改築、新築、各種施設の企画・設計・監理を独自の感性をさらに磨き上げ、皆様のいっそうのお役に立ちたいと考えています。

業務概要

商 号	建築設計事務所 PRADO
業 務	建築の新築、増築、改築、街づくり、地域開発、環境整備に関する企画、設計、監理及び 関連するコンサルタント及びそれらに付帯する一切の業務
登 録	登録番号 島根県知事登録 10250号 登録名称 建築設計事務所 PRADO
創 立	平成9年9月19日
沿 革	業務物件により設計スタッフチーム結成
特 色	官公庁関係の建築物設計・監理、修景、サイン、公園等の環境設計・監理 ショッピングセンター、商業ビル、マンション、アパートの建築物設計・監理 医療関係施設、社会福祉施設、教育施設、体育館の建築物設計・監理 建築設計競技の経験・実績 住宅の改築、増築、新築の設計・監理 企画・設計のプレゼンテーション、模型製作 地方都市60万人構想研究会（出雲、松江、米子、境港圏域）主謀 古民家再生研究会 会員
開設者	浅津圭司 昭和34年9月23日生
事業所	〒690-0044 松江市浜乃木5丁目2-48 HP. Address www.prado-asa.com Tel 0852-67-6891・Fax 020-4624-0434 E-Mail asatsu@prado-asa.com

設計者紹介

建築風土記研究会 成相 修

私は映画を見るのが好きだ。

そんな中、特に大好きなスターがいる。「ケビン・コスナー」だ。

「フィールド・オブ・ドリームス」の純真な野球好きの農夫。「ウォーター・ワールド」の、無口だが闘志燃える、ワイルドな両生人間。「ボディー・ガード」のじみだが、じっと耐える強靱な男。等々、いずれの作品にも同じように感じられる、彼のひた向きさ。楽しいときには目が輝き、苦しい時はじっと耐える顔が、なんとも魅力的だ。

今回、浅津さんから紹介文の依頼があった。面白い企画だ！と即座に思い、お受けした。

本来、建築家が自分のことを客観的に評価することはできないし、自分でうまく書けないのは、特に日本人にある事だ。さらに、自分では見えない良さも沢山あるからだ。

建築の素人であり、建築好きの私が、十数年来見てきた浅津圭司さんの事や、作品について、紹介します。

まず、浅津さん紹介のペンを取った途端、文頭のイメージと重なった。姿、形は違うものの（少々浅津さんには失礼かもしれないが）、私の中のケビン・コスナーと浅津さんは、イメージとして、良く似ているのだ。相当以前から、浅津さん本人にも申し上げていたのだが、仕事に熱中している時はもとより、悩んでいる姿がまた、なかなか絵になっているのだ。それは、ひとえに建築に対する浅津さんの思い入れの現れだと私は感じている。

建築家と出会う機会の少ないクライアント。

一人でも多くの人が、そんなひた向きの建築家「浅津圭司」さんと出会って欲しいと願います。